

請 願 文 書 表

- 1 件 名 オーガニック給食の実現に向けた取組みを求める請願について
- 2 受理年月日 令和5年6月16日
- 3 受理番号 第 2 号
- 4 請 願 者 北播磨子どもの食と未来を考える会 加西支部
代表 久川摩耶
- 5 紹介議員 佐伯欣子、北川克則、深田照明、森田博美、森元清蔵
- 6 請願の要旨

地場産有機食材を給食に使うことは、子どもたちの心と身体の健康を守るだけでなく、加西市の有機農業の活性化、移住や定住の促進、本質的な食育、ひいては、自分の生まれ育った街への誇りを持つことにも繋がっていくのではないかと考える。

そしてそれらは、国の推進する「みどりの食料システム戦略」や、国際目標でもある「SDGs」の考え方にも合致する。今、全国的にも世界的にも広がり続ける学校給食のオーガニック化は時代の潮流とも言える。

今年3月に策定された「第3次加西市食育推進計画」の中でも、今後、食育を推進する上で必要と思われる市の施策として「学校、こども園等における食育の充実」「食品の安全・安心に関する情報提供の充実」「地産地消の推進」と続く。

もちろん、給食のすべての食材を地場産有機食材で賄うことは、非常に難しいことであることは重々承知しているが、少しずつでも実現に向けて加西市でも動き出していきたいのである。昔と比べて、日々の食事から心身の発達に悪影響が懸念される物質を避けることが難しくなってきた現在だからこそ、子どもたちのためにも、加西市のためにも、市として実現に向けた取組みを行うよう、請願する。

請願項目

- 1 食材選定基準において、異性化糖・遺伝子組換え・ゲノム編集作物・人工甘味料・健康上悪影響が指摘されている種類の添加物・農薬・除草剤不使用かつ地元の食材から優先的に採用していくことを明記すること。
- 2 オーガニック給食の実現に向けて、生産面を含む多角的な仕組みづくりを協議する場を月1回など定期的に設けること。
- 3 オーガニック給食の導入に際しては、1学期に1回など回数を絞る、あるいは調味料から日本古来の伝統的な作り方をされたものに変更するなど、段階的に実現し、拡充を図ること。

4 カゼイン・乳糖不耐症の問題をはじめ、家畜に使われるホルモン剤や抗生剤・遺伝子組換え飼料の影響も懸念されることから、アレルギーの有無にかかわらず、牛乳の選択制を導入すること。

7 付託委員会 総務常任委員会

請 願 書

令和5年6月16日

加西市議会議長
丸岡弘満 様

請願者 住所 加西市 [REDACTED]
北播磨子どもの食と未来を考える会 加西支部
代表 久川 摩耶 [REDACTED]

紹介議員 議員氏名

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

件 名 オーガニック給食の実現に向けた取組みを求める請願

請願項目

- 1 食材選定基準において、異性化糖・遺伝子組替え・ゲノム編集作物・人工甘味料・健康上悪影響が指摘されている種類の添加物・農薬・除草剤不使用かつ地元の食材から優先的に採用していくことを明記してください。
- 2 オーガニック給食の実現に向けて、生産面を含む多角的な仕組みづくりを協議する場を月1回など定期的に設けてください。
- 3 オーガニック給食の導入に際しては、1学期に1回など回数を絞る、あるいは調味料から日本古来の伝統的な作り方をされたものに変更するなど、段階的に実現し、拡充を図ってください。
- 4 カゼイン・乳糖不耐症の問題をはじめ、家畜に使われるホルモン剤や抗生剤・遺伝子組換え飼料の影響も懸念されることから、アレルギーの有無にかかわらず、牛乳の選択制を導入してください。

請願の理由・経緯等

請願の趣旨

平素より毎日の学校給食では、子ども達の健やかな健康と成長のために、日々ご尽力をいただきありがとうございます。

私ども「北播磨子どもの食と未来を考える会」は子育て中の母親を中心とする市民の団体です。加西市には、農薬や化学肥料を使わずに、お米や野菜を栽培されている方がおられます。私たちは、それらの食材が学校給食に積極的に使用されること、日々の給食が子どもたちの心身の発達にとって、より良いものとなることを望んで活動しております。

地場産有機食材を給食に使うことは、子どもたちの心と身体の健康を守るだけでなく、加西市の有機農業の活性化、移住や定住の促進、本質的な食育、ひいては、自分の生まれ育った街への誇りを持つことにも繋がっていくのではないかと考えています。

そしてそれらは、国の推進する「みどりの食料システム戦略」や、国際目標でもある「SDGs」の考え方にも合致します。今、全国的にも世界的にも広がり続ける学校給食のオーガニック化は時代の潮流とも言えます。

今年3月に策定された「第3次加西市食育推進計画」の中でも、今後、食育を推進する上で必要と思われる市の施策として「学校、こども園等における食育の充実」「食品の安全・安心に関する情報提供の充実」「地産地消の推進」と続きます。

もちろん、給食のすべての食材を地場産有機食材で賄うことは、非常に難しいことであることは重々承知しております。しかし、少しずつでも実現に向けて加西市でも動き出していきたいのです。昔と比べて、日々の食事から心身の発達に悪影響が懸念される物質を避けることが難しくなってきた現在だからこそ、子どもたちのためにも、加西市のためにも、市として実現に向けた取り組みを行なっていただきますよう、お願いいたします。